

地域 密着 連携 基軸 に10周年

福井県コンクリート診断士会

定期総会開く

福井県コンクリート診断士会(石川裕夏会長)の

13年度定期総会は7日、福井市手寄の市地域交流



13年度事業を決めた総会

プラザで開催され、会設立10周年を迎え、全国一番乗りを記念する同年度事業計画案などを審議了承し、ますます高まる社会的要請に積極果敢に応えていく方針だ。

冒頭、石川会長は設立時の会員数13人

が今や正会員89人(日本コンクリート診断士会加盟第3位)、賛助会員19法人3個人を誇り、温かくも前向きな会員の結束力に感謝し、「地域に根ざす地道な活動を続けた成果で、なかでも地元自治体(具土木部)をはじめとする他団体との連携、協働のお陰」などと重ねて感謝し、この先進的で特長的な活動を「福井方式」として一層確立しアピールしていく抱負を示し挨拶した。

13年度も継続し地域を支えるコンクリート診断

士の継続教育を図る(トネル補修の現場見学など)ほか、地域密着型の地域貢献活動推進、地域のコンクリート構造物の現状や維持管理の重要性PR、地域を中心とした信頼のネットワーク構築を推進。このほか日本コンクリート診断士会第4回定時社員総会とコンクリート火災後対応マニュアルが報告され、新規入会者(正6人、賛2法人)も紹介。総会後は第50回研修会「高速道路の現状とこれからの維持管理」を熱心に聴いた。